

# 3歳以上のこども (幼稚園・保育とも) の受け入れを開始

公立幼稚園8園を  
「幼稚園型認定こども園」に  
教育・保育施設条例を可決

吹田市は、これまで市民要求が高かった公立幼稚園での3歳児保育を実施してきませんでしたが、「幼稚園型認定こども園」に移行する8つの幼稚園では、3歳児保育を実施するとともに、親が就労するなど保育の必要な子どもを新たに受け入れることとなります。幼稚園の子どもも長時間の保育を希望すれば可能となります。

H25年に市が決定した「教育・保育将来ビジョン」による幼稚園廃園計画は

撤回することになりました。日本共産党は、「必要な保育体制は正規職員で」「給食は食育の一環。自園調理にすべき」と提案しました。

給食は、調理済みの食材を外部から搬入し園内の給食施設で温め(クックチル方式)、米飯は園内で炊飯して子どもたちに提供する業務委託を前提としており、今後改善を求めました。また、職員体制は「保育の経験のある正規職員を配置する」と答弁がありました。

## 対象幼稚園

### ▶H28年度

佐竹台幼稚園

### ▶H29年度以降(予定)

吹田第一幼稚園 岸部第一幼稚園  
豊津第一幼稚園 吹田南幼稚園  
千里第二幼稚園 山田第一幼稚園  
山田第三幼稚園



長年の要求  
が実現

## 重度障害者のくらしの場 「多機能ケアホーム」整備 の補助が決定

訪問看護ステーション、ショートステイ、ホームヘルパー事業、相談支援事業、福祉避難所を備えた身体障害者ホーム、知的障害者ホームを整備し、医療的ケアや行動障害など「重い障害があっても吹田で暮らせる場を」という親の切実な願いを実現。今回、国・府の補助対象とならなかった知的障害者ホームについて、市が独自に補助を行い、施設の整備を大きく後押ししたことは高く評価できます。

中学校読書  
活動支援者

## 1人3校兼務から 2校兼務へ拡充 小学校は来年1人1校に



日本共産党は、これまで読書活動支援者を、1校に1人配置するよう求めてきました。市は、小学校の読書活動支援者について、来年度1人2校兼務から1人1校へと拡充し、中学校についても再来年には1人1校にすると明言しました。学校司書が学校図書館法改正により位置付けられたことをうけ、1日4時間の勤務時間や、1年を通しての配置となっていない点、時給946円の現在の処遇について改善し、授業との連携などを充実するよう強く求めました。

## マイナンバー法実施 のための条例

日本共産党  
は反対

「税と社会保障の一体改革」と併せて成立したマイナンバー制度。所得を把握し、社会保障抑制を目的に、これまで別々に管理されてきた多くの個人情報結びつけられ、より深刻なプライバシー侵害や、なりすましによる被害が懸念されます。市の事業でこの共通番号を使用することが条例で決められ、住民票や地方税、医療保険給付関係、障がい者関係情報などの**特定個人情報**が利用されることとなります。年金情報流出にみられるように、大量の情報が漏えいすれば取り返しがつきません。国民にとっては利便性よりも危険性が増すマイナンバー制度の具体化に日本共産党は反対しました。

吹田操車場  
跡地の  
まちづくり

## 市民福祉向上に 寄与する事業展開を

鉄道・運輸施設整備支援機構の土地を購入し、在宅医療や福祉事業と一体となった高齢者向け複合居住施設を整備する事業者を決める予算が提案されました。この質疑の中で、市として必要な福祉事業を求めたところ操車場跡地に病児・病後児保育を検討しているとの答弁がありました。

